



東京理科大学

維持会レター

第35号

vol.35 2022.1



学校法人 東京理科大学 理事長

浜本 隆之

新年あけましておめでとうございます。維持会会員の皆様におかれましては、日頃から本学の教育・研究に対し温かいご理解を賜り、誠にありがとうございます。

お陰様で、昨年の創立 140 周年もつつがなく終え、学長室が新たな体制となって迎える 2022 年は、次の 150 周年、また更にその先の未来に向けたスタートを切る大切な 1 年となります。4 月からは、大学の新たな中期計画 2026（2022～2026 年度）も始まります。

野田キャンパスの再構築が一段落して、昨年は葛飾キャンパスの再構築が始まりました。6 月には、2024 年中の完成を目指して、葛飾新棟の建設工事が始まりました。今年 4 月には、工学部工業化学科の神楽坂キャンパスから葛飾キャンパスへの移転も控えています。今後、葛飾キャンパスは、本学のイノベーションの拠点となるキャンパスとして発展させていく予定です。

この葛飾キャンパスの後には、続けて神楽坂キャンパスの再構築も予定しています。

また、新たな試みとして、昨年 10 月に給付型冠奨学金を創設いたしました。

新しい奨学金は、大きく二つに分かれています。そのどちらもいただいた寄付を原資にしておりますが、「維持会奨学金」は、学部学生約 20 人に対し一人あたり 50 万円の給付を行い、また、「寄付者の名前を付した奨学金」は、給付対象となる学部・研究科等まで指定したうえで、寄付者の名前を冠した奨学金として給付を行います。いずれの奨学金も、学業意欲の高い成績上位者に対して給付しますので、ご賛助いただける方はぜひお問い合わせいただければ幸いです。

今後も、維持会の皆様からの貴重なご支援を有効に活用させていただくべく、理事会、教職員一丸となって大学改革に努めてまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

皆様にとって 2022 年が幸多き年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



東京理科大学 維持会 会長

酒井 陽太

維持会会員の皆様 明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃より維持会の活動にご理解、ご協力いただき感謝を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症一色の 1 年でした。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、家計の急変やアルバイト収入の減少などの苦境に見舞われた学生もおり、維持会としましては、学業断念といった状況にならないよう、コロナ支援金の募集を 2020 年 6 月から昨年 12 月まで実施いたしました。その結果 1 億円を上回るご寄付を賜り、学生を支援することができました。ご寄付を賜りました皆様には、重ねて心より御礼申し上げます。

皆様もご存じの通り、東京理科大学は、建学時からの伝統である実力を備えた学生のみを卒業させるという実力主義を受け継ぎ、多くの実力ある有為な人材を、日本の産業界や教育界、学術界に輩出し、社会に貢献してまいりました。このような伝統を引き継いでいくための一助とし、昨年 10 月より学業意欲の高い成績優秀者を対象に 2 種類の冠奨学金を創設いたしました。一つは維持会奨学金、もう一つは寄付者の名前を冠した奨学金です。原資は皆様からの募金によるものですが、ノーベル医学生理学賞を受賞された大村智先生が言われている「社会に役立つ仕事」をする実力ある人材の育成に貢献できればと考えております。

今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

維持拡充資金（第二期）冠奨学金支援に関するご寄付のお願い

東京理科大学はその前身である東京物理学校の創立（明治 14 年）以来、140 年に亘り“理学の普及をもって国運発展の基礎とする”という建学の精神に基づき、建学時からの伝統である実力を備えた学生のみを卒業させるという実力主義を受け継いできました。大学を取り巻く社会的環境が厳しさを増す状況下でも、この建学の精神に基づく教育研究活動を着実に発展させ、実力を有する多くの人材を、日本の教育界や産業界、研究機関に輩出し、社会に貢献してきました。

さて維持拡充資金（第二期）は、2006 年の創立 125 周年以降の募金窓口として、奨学金や教育研究資金、施設設備拡充資金、課外活動施設拡充資金の募集を実施してきました。また昨年度からは新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学生が、家計の急変やアルバイト収入の減少等の経済的な理由で学業の継続を断念することがないように、コロナ支援（家計急変学生支援）の募集を開始し、「東京理科大学家計急変支援金」（給付型奨学金）による学生の支援を行っております。

今般、このような支援に加え、おもに学業意欲の高い成績上位者を対象に、次の 2 種類の給付型冠奨学金を新たに創設することにいたしました。大変厳しい経済状況の中、誠に恐縮に存じますが、本趣旨にご賛同いただき、引き続き皆さまからの力強いご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

冠 奨 学 金 の 種 類		
	① 維持会奨学金	② 寄付者の名前を付した奨学金 (例：理大太郎奨学金)
原 資	維持拡充資金（第二期）	維持拡充資金（第二期）のうち、一括して 1 □ 300 万円を 1 □ 以上寄付され、用途を「冠奨学金」に指定された方の寄付金
給付額／1 人	50 万円	1 □ 当たり 30 万円
人数／年	20 人	1 □ 当たり 1 人（給付期間 10 年）
備 考	給付対象は学部学生とします。	給付対象学生の学部、研究科等をご指定いただけます。（学科、専攻までご指定可能です。）

【寄付金の募集・受入開始】 2021 年 10 月 1 日（奨学金の給付開始は 2022 年度）

【募集対象】 同窓生、教職員、篤志家

【申込方法】 ホームページ (<https://www.tus.ac.jp/donation/internet/>)

【寄付の方法】 クレジットカード、ネットバンキング、銀行振込

【給付の審査基準】 学業意欲の高い成績上位者

【税制上の優遇措置】 本法人に対するご寄付は、税制上の優遇措置を受けることができます。

【領収書】 寄付金の領収書を発行させていただきます。確定申告にご使用ください。

【寄付者の顕彰】 寄付者様の同意のもと、学報等の芳名録にて掲載させていただきます。



【維持拡充資金(第二期) 寄付額】

(2021年4月1日～2021年9月30日)

個	人	38,347,000円
団	体	3,759,000円
こ	う	410,000円
法	人	58,600,000円
合	計	101,116,000円

**維持拡充資金(第二期) について
(2020年度分報告)****【2020年度 維持拡充資金(第二期) 寄付総額】**

(2020年4月1日～2021年3月31日)

個	人	99,910,253円
団	体	904,000円
こ	う	68,618,066円
法	人	15,338,325円
合	計	184,770,644円